

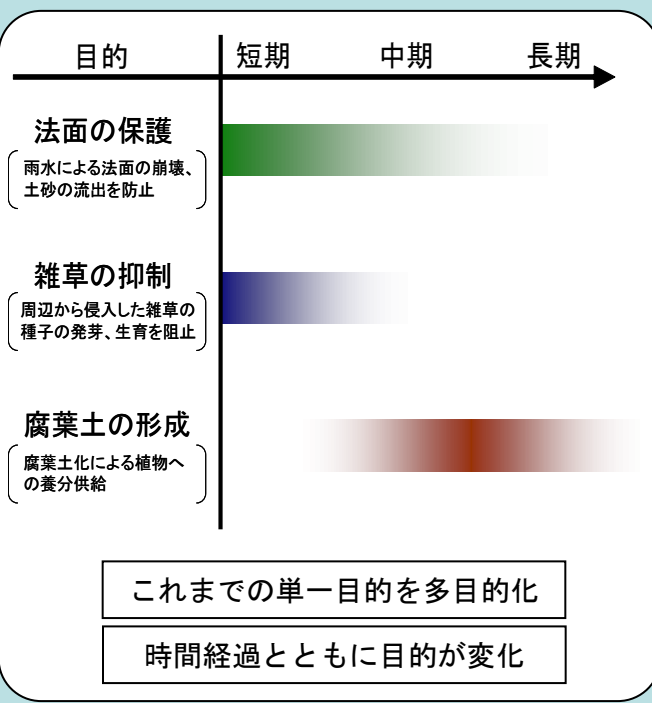
木くずチップ等をグランドカバー材として活用

— 根株等の現場内における有効利用の研究 (H22~23) —

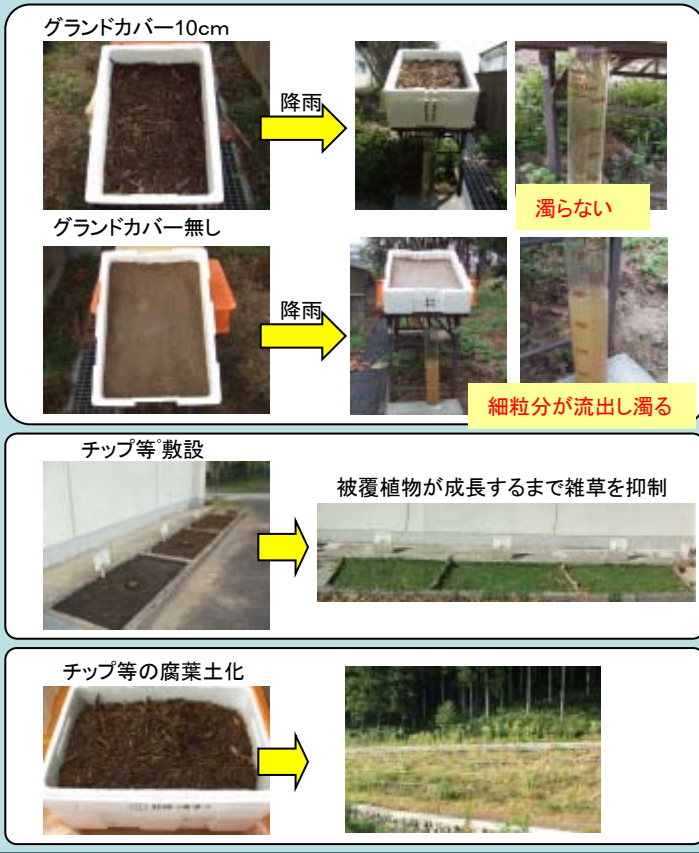
愛媛県産業技術研究所 建設技術センター 主任研究員 池内 正浩
主任研究員 青井 浩仁

公共工事に伴って発生する根株等の木くずについては、これまで産業廃棄物として処理されており、公共事業予算の削減が進むなか、運搬費や処分費等が大きな負担となっている。そこで、この木くずをチップ状あるいはファイバー状に破碎し、グランドカバー材として現場内利用することによって、コスト縮減と環境負荷の低減に資する研究を行った。

1 チップ等の利用目的とその効用期間イメージ図

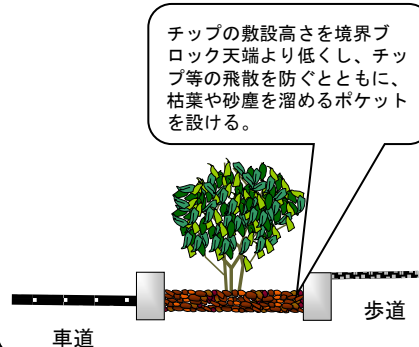


2 チップ等の効果の検証

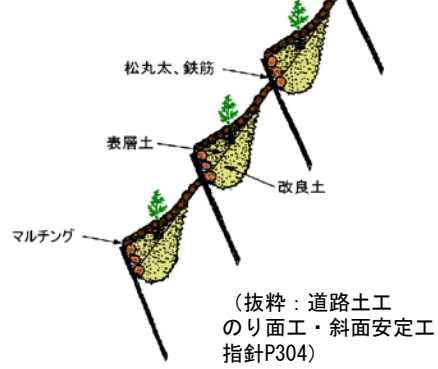


3 チップの使用例

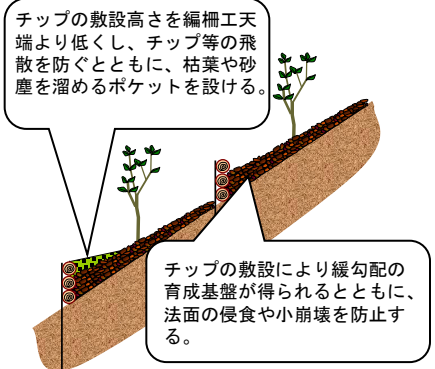
1 植樹帯



2 切土法面



3 盛土法面



チップ等は、これまで防草対策を目的としたマルチング材として利用された実績はあるが、本研究ではこれに法面の保護、腐葉土の形成を併せた3つの目的を設定するとともに、これらが時間の経過に伴って遷移していくことの有効性を明らかにしたものであり、今後の公共事業での普及促進を期待したい。